

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2024年2月27日

事業所名：放課後等デイサービスふらすこ

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

| 区分       | チェック項目   | 事業所の現状評価 |           |     |  | 保護者の方の評価 |           |     |       | 評価を踏まえた改善内容・改善目標             |   |
|----------|--|----------|-----------|-----|--|----------|-----------|-----|-------|------------------------------|---|
|          |  | はい       | どちらともいえない | いいえ | 工夫した点、改善点  | はい       | どちらともいえない | いいえ | わからない |                              | 保護者の方のご意見                                   |
| 環境・体制整備  | 1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保   | 4        |           |     |  | 14       | 2         |     |       | 低学年に対しては十分かと思えるが、高学年になるとどうか… | ・今後も様々なニーズを柔軟に取り入れながら、活動スペースを準備したい。         |
|          | 2 職員の適切な配置   | 4        |           |     |  | 14       | 1         |     | 1     |                              | ・支援内容に応じて配置管理を継続する。                         |
|          | 3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備                 | 4        |           |     | ・構造化の手法を取り入れて、活動環境の整備に努めている。                     | 13       |           |     | 3     |                              | ・引き続き、1人1人の特性に配慮した環境作りを継続していく。              |
|          | 4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保                                  | 4        |           |     | ・常に清潔で整理整頓された環境を意識しながら業務にあたっている。                 | 16       |           |     |       |                              | ・細かいところまでの清掃、整理整頓を心がける。                     |
| 業務改善     | 1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画                        | 3        | 1         |     | ・情報の共有が不十分である部分がある為、ミーティングノートの回覧などで工夫を図っている。     |          |           |     |       |                              | ・職員同士のコミュニケーションの場を増やし、フィードバックする機会を持てるようにする。 |
|          | 2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施   |          | 3         | 1   |  |          |           |     |       |                              |   |
|          | 3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保  | 3        | 1         |     | ・必要に応じて、各種研修の案内や参加を行っている。                        |          |           |     |       |                              | ・外部の研修参加だけでなく、それぞれの職員同士のスキルを共有できる機会を設けていく。  |
| 適切な支援の提供 | 1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成 | 4        |           |     | ・アセスメントに基づいた計画の策定はもちろん、その情報の更新や共有についても意識して行っている。 | 15       | 1         |     |       |                              | ・今後も子どもと保護者のニーズや課題を的確に捉えていく。                |
|          | 2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載           | 4        |           |     |  | 15       | 1         |     |       |                              | ・それぞれの子どもの困り感やニーズの把握を元に、適切な支援目標の設定に努めていく。   |
|          | 3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成             | 4        |           |     | ・個々のニーズや特性に配慮しながら、計画を作成している。                     |          |           |     |       |                              | ・それぞれの子どもの困り感やニーズの把握を元に、活動への参加を促していく。       |



| 区分             | チェック項目   | 事業所の現状評価 |           |     |   | 保護者の方の評価 |           |     |       | 評価を踏まえた改善内容・改善目標         |   |
|----------------|--|----------|-----------|-----|---|----------|-----------|-----|-------|--------------------------|---|
|                |  | はい       | どちらともいえない | いいえ | 工夫した点、改善点   | はい       | どちらともいえない | いいえ | わからない |                          | 保護者の方のご意見   |
| 関係機関との連携（続き）   | 3<br>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)<br>子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備                        |          |           |     |   |          |           |     |       |                          |   |
|                | 4<br>児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有 | 2        | 2         |     |   |          |           |     |       |                          | ・引き続き、必要に応じて支援内容の共有を図り、円滑な支援の実施に努めていく。              |
|                | 5<br>他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供                                       | 1        | 2         | 1   | ・同じ放課後等デイサービス事業所間では一定の情報共有はなされているが、他の障害福祉サービス事業所との連携は不十分と感じる。 |          |           |     |       |                          | ・移行時期に際しては、特に情報共有は意識して行い、スムーズな移行を図っていく。             |
|                | 6<br>児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進   | 2        | 2         |     |   |          |           |     |       |                          | ・必要に応じて、他機関と連携を図りながら、スキルアップを行っていく。                  |
|                | 7<br>児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供     |          | 3         | 1   |   | 5        |           |     | 11    | ・コロナのこともあり、今は無くて良いと思います。 | ・状況をみながら、他施設との交流イベントなども企画、立案していく。                   |
|                | 8<br>事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営   |          | 2         | 2   |   |          |           |     |       |                          |   |
|                |  |          |           |     |   |          |           |     |       |                          |   |
| 保護者への説明責任・連携支援 | 1<br>支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明  | 4        |           |     |   | 16       |           |     |       |                          | ・丁寧な説明を心がけている。                                      |
|                | 2<br>児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明   | 4        |           |     |   | 15       | 1         |     |       |                          |   |
|                | 3<br>保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施  | 3        | 1         |     | ・外部講師によるペアレント・トレーニング研修を開催した。                                  | 11       | 1         |     | 4     | ・次回、また機会があれば参加したい。       | ・引き続き、保護者の方のニーズを聞き取りながら、ペアレント・トレーニング等の参加機会を設けていきたい。 |

| 区分                 | チェック項目 | 事業所の現状評価   |               |     |           | 保護者の方の評価                                      |               |     |       | 評価を踏まえた<br>改善内容・改善目標 |  |  |
|--------------------|--------|--|---------------|-----|-----------|---|---------------|-----|-------|----------------------|--|--|
|                    |        | はい   | どちらとも<br>いえない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい  | どちらとも<br>いえない | いいえ | わからない |                      | 保護者の方のご意見  |  |
| 保護者への説明責任・連携支援（続き） | 4      | 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底                      | 4             |     |           | ・日々の連絡ノートでのやりとりや送迎時のお話などで共通の理解が得られるように意識している。 | 15            | 1   |       |                      | ・日々の様子や事業所での活動状況など、細かいことでも情報共有の意識を持ち、連携強化を続けていく。 |  |
|                    | 5      | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施                    | 3             |     |           | ・必要に応じて、丁寧に対応できるように心がけている。                    | 13            | 1   |       | 2                    | ・他機関との連携を続けながら、専門的な対応がとれる体制を整えていく。               |  |
|                    | 6      | 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援                       |               |     | 4         |   |               | 1   | 3     | 3                    | 9  | ・保護者会などの機会を準備できるよう計画していく。              |
|                    | 7      | 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 | 4             |     |           |   |               | 14  | 1     |                      | 1  | ・引き続き、苦情があった際には、より迅速に対応できるような体制を整えていく。 |
|                    | 8      | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮                        | 4             |     |           |   |               | 15  |       |                      | 1  | ・より専門的な支援を取り入れることで、配慮できる部分を増やしていく。     |
|                    | 9      | 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信          | 4             |     |           |   |               | 14  | 1     |                      | 1  |  |
|                    | 10     | 個人情報の取扱いに対する十分な対応                                      | 4             |     |           | ・個人情報の取り扱いには十分留意している。                         | 16            |     |       |                      |  | ・引き続き、個人情報の取り扱いには十分注意していく。             |
| 非常時等の対応            | 1      | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底         | 2             | 2   |           |   |               | 12  | 2     |                      | 2  | ・周知方法を工夫し、より内容が伝わるように努めていく。            |
|                    | 2      | 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施                       | 3             | 1   |           |   |               | 12  | 2     |                      | 2  | ・引き続き、法令に則り、適切に訓練を実施していく。              |

| 区分              | チェック項目   | 事業所の現状評価 |               |     |   | 保護者の方の評価 |               |     |       | 評価を踏まえた<br>改善内容・改善目標 |   |
|-----------------|--|----------|---------------|-----|---|----------|---------------|-----|-------|----------------------|---|
|                 |  | はい       | どちらとも<br>いえない | いいえ | 工夫した点、改善点                                     | はい       | どちらとも<br>いえない | いいえ | わからない |                      | 保護者の方のご意見   |
| 非常時等の<br>対応（続き） | 3<br>虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応  | 3        | 1             |     |   | /        | /             | /   | /     |                      | ・外部の虐待防止研修への参加及び、その内容を職員間で周知する等、職員間で意識向上に努めていく。           |
|                 | 4<br>やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | 4        |               |     |   | /        | /             | /   | /     |                      | ・そうした状況にはないものの、準備と体制の整備に努めていく。                            |
|                 | 5<br>食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応  | 3        |               | 1   |   | /        | /             | /   | /     |                      | ・保護者とも連携を図り、非常時に適切に対応できるよう準備しておく。                         |
|                 | 6<br>ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底   | 4        |               |     | ・日々の支援の中での気付きを大切に、事故を未然に防ぐ意識を常に持ちながら支援を行っている。 | /        | /             | /   | /     |                      | ・引き続き、日々のミーティングで共有されたものをまとめていき、定期的に振り返りながら、事故を防ぐ意識を高めていく。 |